

## 就任のご挨拶

副院長 水 沼 正 弘

この度、4月1日より副院長を拝命いたしました、水沼正弘と申します。

前任副院長の三河先生は30年の長きにわたり、オホーツク医療圏の新生児、小児医療を支えて下さいました。平成5年以来、私も産婦人科医として、その歩みの一助を担えたことは、私の誇りとするところです。

当院は昨年、開院80周年の節目の年を迎え、且つ、本館・P・E・T棟などの新改築が完成し、グラウンドオープンを行うことが出来ました。

私の赴任当時、医師数は40数人。内科は単科で、あらゆる内科疾患に対応してました。

その後、循環器内科、消化器内科、形成外科などの開設が行われ、また各診療科の体制の強化、積極的な初期研修医の迎え入れをはかり、現在、医師数はちょうど100名に達しています。

この間の、診療内容の高度化も目を見張るものがあります。内視鏡手術と言えば泌尿器科のTURP程度だったもの

が、様々な外科診療や消化器疾患の中で欠くべからざるものとなりました。CT・MRI・PET等の画像診断の制度、画質の向上なども隔世の感があります。

しかし、内科医の大量退職、夜間救急診療への若手医師の不满など、すべてが明るく発展、進歩していた訳ではありません。

また、昨年の遠軽厚生病院産婦人科の閉鎖は、度々マスキミにも取り上げられるとおり、遠近地域の周産期医療に對して壊滅的な状態を引き起こしました。多くの妊産婦が北見に通院されていますが、

厳冬期には道路の不通のため、陣痛が来ても来院できず、何とか道の通じた名寄市立病院にお願ひすることが出来て、

事なきを得た事もあります。従って、現状は道内有数の施設、設備を誇る箱物は完成したが、それを活用すべく、

当院の各診療科、医療スタッフの一層の努力、工夫が求められます。

大学からの派遣医の引き上げ、再配置が行われている中、

地域の医療機関同士の連携が益々重要となっております。地域を守るという視点で、行政からの支援、協力も計られねばなりません。

今、初めて、物珍しく病院の管理、運営の有り様を見させていただいています。改めて責任の重さを痛感しております。何かと地域連携を守るべく、努力いたしますので、皆様からのご指導、ご鞭撻をお願ひし、ご挨拶とさせていただきます。



## 就任のご挨拶

地域医療連携室長 大 谷 恵 隆

制度に先行していたかのようです。

その後は3つの都立病院を移動しながら主として循環器内科、麻酔、救命救急の研鑽に励みました。

医師5年目が終わる頃、縁があり東京大学第2内科学教室（当時）へ入局いたしました。相前後して直属の上司の栄転（帝京大学教授就任）に同行した為、東大の医局員ですが東大病院での勤務は殆どございません。

その後も上司の指示に従い、再入社まで帝京大学と日本赤十字社医療センターを行き来しておりました。

院外の先生方と当院との関係は地域医療連携室を経由する事が多かろうと存じます。

地域医療連携室のスタッフは大変優秀でございますが、医師同士での調整が必要な時の為に私が配属されております。調整内容や連絡方法を問わず、お気軽に声をお掛け下さいませ。

今後とも宜しく願ひ申し上げます。



アイヌの言葉や開拓時代に由来する地名を耳にするたび過去から綿々と続く人間の力強い営みが想像され、また現在の豊かな耕作地を目の当たりにするたび未来へ続く当地の重要性が実感されます。

昨年4月の再入社と同時に地域医療連携室長を拝命いたしました大谷恵隆でございます。挨拶を兼ね、自己紹介をさせていただきます。

私は平成7年に富山医科大学（現在の富山大学医学部）を卒業いたしました。当時は卒業ストレート入局としてストレート研修の時代でございます。卒業後、一般病院での臨床研修を選択し都立駒込病院の内科系臨床研修医となりました。当時の同院での研修は内科を1年4ヶ月、外科を4ヶ月、小児科を2ヶ月、産科を2ヶ月、小児科を2ヶ月、現在の初期研修

## ■金山院長先生質問コーナー

診療科：歯科



### 《1、自己紹介》

昭和55年に開業。平成2年に医療法人化。  
長年の経験を活かし十分な説明と相談を大切にして患者さんの悩みや苦痛を少しでも軽減し、一生自分の歯で食べられるように診療に取り組んでいます。そのためにも衛生士と院内技師を確保し、口腔内衛生の指導や技工調整をスムーズに進めています。

デジタルレントゲンやレーザー照射、感染予防の滅菌水などの最新機器も積極的に取り入れています。

### 《2、医療連携について》

一般の歯科設備では難しい治療や入院を要する患者さんなどをお願いしています。いつも快く引き受けて頂き感謝しております。地域にとりましても心強い限りで北見歯科医師会と致しましても大変ありがたく思っております。

### 《3、最近の出来事》

平成15年から(社)北見歯科医師会の代表として、また平成22年よりは北見赤十字病院のプロジェクト実行委員会の委員として貴院内の歯科口腔外科の設置を要望して参りました。

皆様のご尽力により開設がなされたことはオホーツク圏の障がいをもつ方々や難病・重病の方々の治療に、また入院患者さんの口腔ケアに大きな力となっています。最近、その道程を振り返り喜びと感謝を新たにしております。



## 医療法人社団 金山歯科医院



〒090-0065

北見市寿町3丁目1-1

TEL(0157) 61-6666

院長：金山 洋一

出身大学：日本大学松戸歯学部  
(昭和52年卒)

出身地：北見市

所属学会：日本顎咬合学会  
口腔感染症予防研究会  
口腔診断書研究会

《診療受付時間のご案内》

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後2:00~6:00	○	○	○	○	○	×	×

# 登録医紹介

## ■高橋院長先生質問コーナー

診療科：一般歯科・口臭治療



### 《1、自己紹介》

昭和57年 北見市にて開業 平成3年 医療法人化  
補綴出身のためか義歯、クラウンブリッジ希望の患者さんが多いのが特徴です。  
家内が同業で口臭治療を行っています。

### 《2、医療連携について》

昨年、歯科保健センター併設の口腔外科が北見日赤内に開設となりました。知的障がい者や有病者の歯科治療が前進したと思っています。

### 《3、最近の出来事》

昨年9月16日 急性虫垂炎を発症して、同日、北見日赤にて腹腔鏡下虫垂切除手術を受けました。翌日には起き上がり19日には退院しました。痛みも無く、翌週から診療に入れました。宮谷内先生をはじめスタッフのみなさんありがとうございました。



## 医療法人社団 高橋歯科医院



〒090-0052

北見市北進町1丁目12-24

TEL(0157) 61-1311

院長：高橋 倫夫

出身大学：日本大学歯学部  
(昭和56年卒)

出身地：網走市

所属学会：出身教室 総義歯補綴学

《診療受付時間のご案内》

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9:30~13:00	○	○	○	○	○	○	×
午後2:30~6:30	○	○	×	○	○	×	×

※口臭治療：水・木・金・土 午後2時30分~6時30分です。



内科医師  
下山修平



内科医師  
蛭川慶太



第二消化器内科副部長  
佐藤史幸



消化器内科医師  
木脇佐代子



消化器内科医師  
小田切信介



消化器内科医師  
得地祐匡



循環器内科医師  
本居昂



第一神経精神科副部長  
金田博雄



神経精神科医師  
立花蘭



第一小児科副部長  
植田佑樹



外科医師  
羽根佑真



整形外科医師  
岡安浩宜



第二形成外科副部長  
塩谷隆太



脳神経外科部長  
佐口隆之



第一泌尿器科副部長  
橋爪和純



産婦人科医師  
阿部秀悦



第一麻酔科副部長  
室内健志



麻酔科医師  
赤塚正幸



麻酔科医師  
星友絵



第二麻酔科部長  
岡崎加代子



医療技術部嘱託医師  
株本徹



臨床研修医  
石堂敬太



臨床研修医  
斉藤公仁



臨床研修医  
角田龍太



臨床研修医  
宮崎康太郎



臨床研修医  
高橋俊樹



臨床研修医  
垂水政人



臨床研修医  
青柳美穂



臨床研修医  
桑原咲



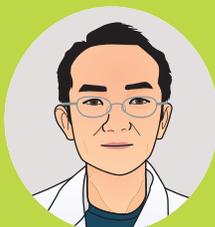
外科医師  
猪子和穂



耳鼻咽喉科医師  
道塚智彦



皮膚科医師  
斉藤剛史



第二小児科部長  
帯金克行

新しい医師を紹介しま〜す  
(平成28年7月)

## 平成27年度 1 日看護師体験を終えて



8月7日(金)、高校生を対象とした「1日看護師体験」が終わりました。

北見北斗高校・北見柏陽高校・美幌高校・遠軽高校・北見藤女子高校・美幌高校・遠軽高校の6校から、学年では1年生34名、2年生3名、3年生7名、性別では女子40名、男子4名の合計44名の参加で実施しました。例年、希望者が大変多く、昨年は40名10部署で実施しましたが、実習場所を1部署増やし対応しましたが、希望者が定員より更に多い学校もあり、学校側で人選していただき参加者を決めていただきました。看護職を目指す学生が増え、ニーズが高いことがうかがわれました。

例年気温が高い時期の行事で蒸し暑く大変でしたが、今年度は新病院となり良い環境の中で実習ができました。参加者の皆さんは緊張されていました。午前は病棟見学と看護体験、午後は上野副院長からの講話や救急外来の見学などを行うことができました。

体験を終えて、参加者より「看護師を目指す気持ちが高まった」「普段体験できない看護師の仕事が体験できた」「患者さんから見た看護師は医師に患者さんの気持ちを伝達してくれる人であり、自分の辛い気持ちを聞いてくれる大切な存在だと思った」「看護師の仕事は素敵な仕事だと思った」「患者さんが笑ってくれるような、人の役に立つ仕事がい」「看護師は何でも患者さんのことをやっておけるのかと思っていたが、患者さん本人の力を少しでも使ってもらおうという関わっていることが分かった」などの感想が聞かれ、看護師の仕事の理解が深まり、今後の進路や将来をより具体的に考える機会となる有意義な体験になったと思います。(看護部)

# 災害ケアについて

2016年1月16日に「この街のケア研修」を開催いたしました。これは災害時におけるこの街のケアについての研修会であり、日本赤十字社の災害救護活動の重要な柱のひとつとして位置づけられています。全体で390分という1日がかりの研修ですが毎年開催されており、今回も16名の参加がありました。

内容は「日本赤十字社のこの街のケア」「災害時のストレスとストレス反応」「被災者へのこの街のケア」「救護員へのこの街のケア」「この街のケアの実践」と多岐に渡っています。また座学だけでなく、グループワークやロールプレイもふんだんに取り入れられており、より実践的な内容となっています。参加者アンケートでも、赤十字の役割や実際の被災地での活動を聞くことが学びになると好評でした。

災害は忘れた頃にやってくる。この研修会開催時は、熊本での地震など全く予想もしていませんでした。実際にまた災害が起これば、被災された大勢の方々が今も辛い思いを抱えていらっしゃると思います。「できることをする」ためにも、災害時のこの街のケアに興味関心を持っていただければ幸いです。



## 北見赤十字病院(認知症疾患医療センター)市民公開講座 認知症になっても 安心してこの街で暮らしたい

◆日時：平成28年1月23日(土)13:00~15:00  
(会場12:30~)

◆会場：北見赤十字病院 多目的ホール「ミント」  
当日は225名の市民・関係者の皆様にご来場いただき盛大に終えることができました。ご協力ありがとうございました。以下講座の内容を報告致します。

## 2. パネルディスカッション「認知症になっても安心して暮らせる街」 ～北見での取り組み～



- ・北見市保健福祉部介護福祉課  
介護予防係長 今野 夏子氏
- ・高齢者相談支援センター北部  
管理者 福井 志乃氏
- ・道東脳神経外科病院  
ソーシャルワーク課  
課長 山崎 章氏
- ・グループホームいきいき  
管理者 武田 学氏

パネルディスカッションでは、行政・相談機関・医療機関・グループホームの各分野から北見市における認知症支援の現状をお聞きすることができました。今野氏からは、北見市による認知症サポーターのいるお店登録事業、いきいきふれあいサロンや行方不明者捜索模擬訓練等の活動が紹介されました。また、福井氏からは、高齢者相談支援センター北部が関わった単身生活にて認知症を発症した方への事例、特に公的資源に加え、友人等インフォーマルなマンパワーを巻き込んでの支援体制作りのお話でした。山崎氏からは、もの忘れに関する医療機関受診の際、戸惑いや不安を感じる場合や、本人や家族が受診の必要性を感じない場合など、受診がスムーズに進まない場合も多々あるため、困った場合はぜひ、医療ソーシャルワーカーや高齢者相談支援センターへ相談をとのお話がありました。それらを受け、武田氏からは入居者の笑顔の写真と共に、グループホーム(認知症対応型共同生活介護)の実際について説明がありました。活動内容から費用や、入居先を探す際のポイント等具体的なお話をお聞きすることができました。

参加された皆様のアンケートからも認知症の診断・治療や地域支援などについての関心の高さがうかがえました。この度、会場の都合で人数に限りがあり、ご参加いただけなかった皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。今後も継続することが必要と考えております。市民の皆様の声を今後の活動に反映しつつ、講演会・研修会等で情報発信していきたいと思っております。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

(事務局 伊藤 記)

## 1. 講演「つたえる・つながる・ささえる～社会全体で支える認知症ネットワーク～」

砂川市立病院 精神科 認知症疾患医療センター長 内海久美子先生

講演では内海久美子先生よりアルツハイマー型認知症の症状や砂川市における認知症当事者支援の事例を紹介していただきました。NPO法人中空知・地域で認知症を支える会を始めとし、ボランティア・町内会・医療機関等がネットワークを構築し、認知症当事者に対するきめ細やかな支援の実践についてお聞きすることができました。

また、砂川市では独居高齢者の見守りのため、町内会等に個人情報を提供できる条例が制定されており、初期集中支援チームによる支援も展開されています。

「認知症は恥ずかしい病気ではない。周囲に助けを求められることが重要。家族だけでなく、地域に支えてもらう病気である事を知りたい」、「一人ひとりができることを行い、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりから一歩進んで、安心して認知症になれるまちづくりを進めていきましょう」と話されていました。



# 北見赤十字病院グランドオープン並びに 創立八十周年記念式典について



皆様のご理解とご支援のもと、平成24年7月より進めてまいりました「北見赤十字病院移転新築・改修工事」は設計・監理「株式会社石本建築事務所」及び施工「清水・北成・村井・松谷特定建設工事共同企業体」にて去る平成27年12月18日にて竣工し引渡しされました。

また、当院は昭和10年11月10日にこの地に建てられ、去る平成27年11月に創立八十周年を迎えることができました。

以上のことから、平成28年3月19日「北見赤十字病院グランドオープン並びに創立八十周年記念式典」を北見赤十字病院多目的ホール「ミント」にて来賓162名をお迎えし執り行い、同日、ホテル黒部に会場を移して、祝賀会を挙行致しました。

これもひとえに、北見市並びに近隣市町村及び地域住民をはじめ多くの関係者や連携医療機関の皆様方のご厚情の賜とここに厚くお礼申し上げます。

今後につきましても、オホーツク医療圏の中核病院として連携医療機関様との連携を深めながら、急速に進歩し続ける医療に対応すべく地域完結型医療体制を構築できるよう積極的に進めてまいりたいと思っておりますので、一層のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 歯科口腔外科外来紹介

北見赤十字病院 歯科口腔外科副部長 辻 学

## あゆみ

歯科口腔外科の新設にあたっては、2013年8月に歯科医師採用の面接試験があり、内定通知を頂いた同年9月下旬から開院までの約2年間は、12回のワーキンググループ会議を開催し、使用機材の選定、ユニット数、診療室のレイアウトなどについて協議してまいりました。2014年12月には歯科衛生士の採用試験を行い、新卒1名を含む4名が採用となりました。本採用となった2015年4月から開院までの約3か月間は、歯科衛生士もワーキンググループ会議に参加し、より細かな内容で開院準備に携わりました。内定通知を頂いた当初は随分先の話だと感じておりましたが、開院し現在から振り返ると、長いようであるという間の2年間であります。

## 当科の紹介

歯科口腔外科は2015年6月22日に開院し、新設という事もあり、何もかもが真新しいことばかりで、開院当初はシステムに慣れるまでにやや時間を要した感がありました。最近ではようやく効率よく業務を遂行できるようになりました。ユニットは6台(1台は身障者用)で、それぞれ個室となっており患者さんのプライバシーを配慮した診察室となっております。機材すべてが新品の状態である事は、卒後16年目の自分にとっても初めての事であり、この上ない贅沢な状況下で診療が行える毎日に感謝しております。当科のスタッフ構成は歯科医師2名(札幌医科大学口腔外科に所属しております)と、北海道大学口腔外科所属の阿部先生、歯科衛生士4名、看護師2名となっております。

## 診療概要

概要としては大きく3つに分けられ、1つ目としては、当院歯科口腔外科の基本理念にもありますようにオホーツク地域の障がい患者さんに対する口腔機能維持のための予防ケアを促進する事を目的とした治療であり、毎週水曜日は口腔保健センター枠として障がい患者さんを優先して診察しております。障がい患者さんの場合はすぐに通常の治療が行えないケースが大半を占めておりますので、急性症状が認められない場合は、先ずは環境になれてもらう所からはじめ、衛生士によるプ

ラッシング指導からのアプローチを行い、状況を見てから徐々に治療に移行しております。また、治療対象となる歯が多い患者さんの場合には全身麻酔下での歯科治療も行っております。次に当院外科、内科を中心とする腫瘍患者さんの術前の口腔ケア依頼である周術期口腔機能管理であります。全身麻酔下での手術、化学療法、放射線療法と様々なパターンでの治療計画に準じて、口腔機能の評価、管理、治療を行っており、この項目は病院歯科の重要な役割の一つでもあります。最後に一般歯科では対処が困難とされる有病者の歯科治療と全身麻酔下症例であります。内容としては、抗血栓薬内服中の観血的処置や、糖尿病患者さんへの歯科治療から、良性腫瘍、悪性腫瘍、顎変形症、外傷による骨折、顎骨嚢胞埋伏智歯など全身麻酔下での治療などがありますが、当科の医師は長年大病院の口腔外科に所属しておりますので、得意としている分野であります。

## 今後の展望

当科は開院したばかりで色々と問題は山積しておりますが、ここは焦らず着実にその問題を一つ一つ処理しつつ、オホーツク地域の歯科医療に貢献していければと思っております。

また、今後の展望として、病院歯科としての重要な役割の一つである「口腔ケア」に関しては、院内の多職種の人たちとの連携を深める事を目的とし、口腔ケアチームの立ち上げを一日も早く実現できるように準備を進めて行きたいと考えております。また、平成28年度から臨床研修医が受け入れる施設としての体制を整えてまいります。



## 循環器内科より不整脈専門外来開設のお知らせ

循環器内科では、平成28年4月より新たに不整脈専門外来を開設しました。カテーテルアブレーションや植え込み型除細動器などの高度医療を北大病院で実践している不整脈専門医師が担当します。カテーテルアブレーションの適応のみならず、不整脈でお困りの方がおられましたら、お気軽にご相談いただきたいと思います。

なお、受診は完全予約制です。第2月曜日を予定しています。不整脈専門外来へのご紹介につきましては、地域連携室までお気軽にお問合せください。

## 平成28年度 オープンカンファレンス 担当診療科

	開催予定日・時間・場所	担当診療科座長(司会進行)	
第1回	平成28年 4月21日(木) 午後18時30分～ 本館3階特別会議室	消化器内科 上林部長	内科・総合診療科 永嶋部長
第2回	平成28年 5月19日(木) 午後18時30分～ 本館3階特別会議室	循環器内科 斉藤部長	内科・総合診療科 大谷部長
第3回	平成28年 6月16日(木) 午後18時30分～ 本館3階特別会議室	内科・総合診療科 永嶋部長	循環器内科 斉藤部長
第4回	平成28年 7月21日(木) 午後18時30分～ 本館3階特別会議室	内科・総合診療科 永嶋部長	消化器内科 上林部長
第5回	平成28年 9月15日(木) 午後18時30分～ 本館3階特別会議室	循環器内科 斉藤部長	内科・総合診療科 吉田院長
第6回	平成28年 10月20日(木) 午後18時30分～ 本館3階特別会議室	消化器内科 上林部長	内科・総合診療科 永嶋部長
第7回	平成28年 11月17日(木) 午後18時30分～ 本館3階特別会議室	内科・総合診療科 大谷部長	循環器内科 斉藤部長
第8回	平成29年 2月16日(木) 午後18時30分～ 本館3階特別会議室	内科・総合診療科 大谷部長	消化器内科 上林部長

### 第1回 内科系3診療科オープンカンファレンス

日時/平成28年4月21日(木) 場所/北館3階 特別会議室  
時間/18:30~19:50

#### 【内容】

**症例** 「結腸直腸がんの化学療法」  
～全国規模の臨床試験(phase III)に登録した当科症例の現状を中心に～  
担当 消化器内科・腫瘍内科 岩永 一郎

**症例** 「いまさらですが、バセドウ病に対する放射線ヨウ素内用療法」  
担当 内科・総合診療科 大谷 恵隆

### 第2回 内科系3診療科オープンカンファレンス

日時/平成28年5月19日(木) 場所/本館3階 特別会議室  
時間/18:30~19:30

#### 【内容】

**症例** 「心嚢液と胸水のコントロールが困難であった心不全の一例」  
担当 循環器内科 関 雄太

**症例** 「急性発症の汎血球減少の一例」  
担当 内科・総合診療科 下山 修平

【進行】 循環器内科 斉藤 高彦

### 第3回 内科系3診療科オープンカンファレンス

日時/平成28年6月16日(木) 場所/本館3階 特別会議室  
時間/18:30~19:20

#### 【内容】

**症例** 「消化器症状で発症した甲状腺クリーゼの一例」  
担当 内科・総合診療科 蜷川 慶太

**症例** 「足がつる」  
担当 循環器内科 本居 昂

【進行】 内科・総合診療科 永嶋 貴博 循環器内科 徳原 教

# 外来のご案内

## 診療科目

- ★内科・総合診療科 (完全予約制)
- 脳神経外科
- ★消化器内科 (平成26年12月1日～完全予約制)
- 皮膚科
- 神経精神科
- ★泌尿器科 (完全予約制)
- 循環器内科
- 産婦人科
- 小児科
- 眼科
- 外科
- 頭頸部・耳鼻咽喉科
- ★整形外科
- ★放射線科
- 形成外科
- 麻酔科
- ★ペインクリニック内科
- ★歯科口腔外科
- (心療内科-休診) ★: 紹介状が必要です

## 休診

- 土曜日 ●日曜日 ●祝日
- 12月29日～1月3日
- 5月1日 (日本赤十字社創立記念日)

## 事前予約について

紹介状を持参される患者様につきましては、患者様の受診希望日時を事前にFAXにて予約診療のお申し込みいただきますと、診察当日、待ち時間が短縮されます。ぜひご利用願います。(但し、急患の場合は各科へ直接連絡願います。)

## 診察カード

診察券は全科共通で使用いたします。ご来院時に必ずお持ち下さい。

## 保険証

健康保険証はご来院時に確認させていただいております。特に、更新・変更の際は必ずご提出下さい。

# 北見赤十字病院 診療一覽表

\*都合により担当医が変更になる場合があります。

平成28年7月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
内科・総合診療科	午前	永嶋	糖尿病:永嶋 栗田	永嶋 大野	永嶋 栗田	#北大血液内科 栗田
		大谷	蛭川	大谷	下山	北大内(第3)/古川(第4)
		吉田(知)	吉田(知)		吉田(知)	島田
		大野		糖尿病:島田 院長(新患+再診)	(昭和大出張医)	(昭和大出張医)
		島田(新患)	下山(新患)		蛭川(新患)	大谷(新患)
	午後	#血液内科連携予約		#血液内科連携予約	#血液内科連携予約	
			北大神経内科(月1度)			北大腎内(第4)
			#栗田		#栗田	#栗田
		#リウマチ・膠原病の地域医療連携予約は栗田の火・木・金(午後)				
		北大神経内科(月1度)				
検査・処置・急病診療						
消化器内科・腫瘍内科	午前	小田切 上林 木脇	江平 佐藤 得地	岩永 小田切	江平 上林 得地	岩永 佐藤 木脇
	午後	腫瘍内科				
循環器内科	午前		斉藤 徳原(新患)	斉藤 本居	斉藤 徳原	斉藤(新患)
	午後		小野(新患) 多田	小野	小野(新患)	小野
神経精神科	午前	新患(再来)	立花	嶋田	交代制(嶋田/立花)	金田
		再来	立花 金田	立花 伊藤	嶋田 伊藤 金田	嶋田 金田 立花
	午後	予約・急患診療のみ				
小児科	午前	帯金 佐藤	菅沼 帯金 神経(植田)	帯金 三河	菅沼 帯金	帯金(佐藤) 三河
	午後	一般	帯金 佐藤	菅沼	河野	植田
		特殊	内分泌(伊藤) 心臓・慢性(安藤) 腎臓・慢性(帯金)	乳児健診(菅沼) 乳児健診(植田)	内分泌(伊藤) 慢性(菅沼)	予防接種(佐藤) 1ヶ月健診(植田)
外科	午前	池田 宮谷内	新田 松永	宮谷内 須永	松永 池田	新関 山口 呼吸器外科:新関
	午後	羽根・宮谷内(予約のみ)	新田・松永(予約のみ)	新関・須永(予約のみ)	猪子・池田(予約のみ)	新関・山口(予約のみ)
整形外科	午前	菅原 #中川 岡安 (手術)	#菅原 松盛 米澤 手術	#松盛 米澤 岡安 手術	#中川 米澤 岡安 手術	#菅原 中川 松盛 (手術)
	午後	#地域医療連携室予約担当医				
形成外科	午前	藤井(予約のみ) 手術	手術	塩谷(予約のみ) 手術	藤井 塩谷	手術
	午後	藤井 塩谷	手術	藤井 塩谷	手術 予約検査	予約外来
脳神経外科	午前	急患診療のみ				
	午後	急患診療のみ				
皮膚科	午前	高橋 斉藤	高橋 斉藤	高橋 斉藤	高橋 斉藤	高橋 斉藤
	午後	高橋 斉藤	手術/ フットケア外来	高橋 斉藤	高橋 斉藤	手術
泌尿器科	午前	藤井 岩田	藤井 岩田	藤井 岩田	藤井 岩田	藤井 岩田
	午後	橋爪 検査	橋爪 手術	橋爪 手術	橋爪、出張医 手術	橋爪 検査
産婦人科	午前	婦人科 産科	水沼 根岸 阿部	水沼 阿部 岩淵	根岸 阿部 水沼	根岸 岩淵 水沼
	午後	婦人科 産科	手術 手術	担当医 担当医	手術 担当医	手術 手術
眼科	午前	予約診療(菅原) 池 高野	菅原 出張医 高野	予約診療(高野) 検査 手術	出張医 池 高野	菅原 池 高野
	午後	予約診療(菅原) 池 高野	菅原 予約診療(池) 検査/手術	予約診療(高野) 検査 手術	予約診療(池) 検査 手術	菅原 池 高野
頭頸部・耳鼻咽喉科	午前	石田 和田	和田 道塚	石田 道塚	手術	石田 和田
	午後	予約診療				
放射線科	午前	有本	有本	有本	有本	リニアック治療中の患者診療のみ
	午後	急患診療のみ				
麻酔科	午前(術前診察)	赤塚	渡邊	汲田	星	室内
ペインクリニック内科	午前	荒川				
	午後					荒川
緩和ケア内科・腫瘍精神科	午前(予約制)	西本				西本
	午後(予約制)		西本(往診)	西本(腫瘍精神)	西本	西本(往診)
歯科口腔外科	午前	辻 阿部 (手術)	辻 阿部	辻 阿部 (口腔保健センター)	辻 阿部	辻 阿部 (手術)
	午後	辻 阿部	辻 阿部	辻 阿部 (口腔保健センター)	辻 阿部	辻 阿部

**地域医療支援病院**

**北見赤十字病院**

**『理念』**

人道・博愛に基づき、患者様を尊重した医療を提供し地域の期待と信頼に応えます。

**『基本方針』**

- 真に患者本位の医療を提供する、モラルと技術の高い病院を目指します。
- 二次～三次の救急医療と高度医療の充実した病院を目指します。
- 職員が成長でき、働く満足度の高い病院を目指します。
- 健全経営を行い、医療活動を通じて地域社会に還元します。

**『患者様の権利』**

- 誰もが年齢・性別・人種・職業などに関係なく公平に医療を受ける権利があります。
- 誰もが一人の人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利があります。
- 誰もが分かりやすい言葉や方法で、理解・納得できる十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
- 誰もが納得したうえで自らの意思で医療行為を選択または拒否する権利があります。
- 誰もが説明に納得できない場合は他の病院・他の医師に意見を求めること(セカンド・オピニオン)ができる権利があります。
- 誰もがプライバシー(個人情報保護法)を厳格に保護される権利があります。
- 誰もが自分の診療記録の情報を得る権利があります。

**『患者様へのお願い』**

- 患者様及び御家族の方は、患者様の健康状態、アレルギー歴、病歴等について出来るだけ正確にお伝え下さい。
- 医療スタッフの説明を良くお聞きになり、ご理解のうえ指示に従って治療や検査などの医療行為をお受け下さい。
- 病院内では秩序を保ち、他の患者様のご迷惑にならない様をお願いいたします。
- 医療費は速やかにお支払い下さいますようお願いいたします。
- 当院は臨床研修病院として、卒前・卒後研修教育を担っています。医療専門職の育成にご理解・ご協力をお願いいたします。